



地域のつながり、助け合いが重要です

今回の互近所ささえ～る隊は、荒川地域の貝附集落の「地域の茶の間」にお邪魔し、地区の現状をお話しながら、「自分の地域における生活支援で足りないものは何か」について地域の声を聞いてきました。

貝附集落は毎週金曜日の移動販売を高齢者3人が利用し「大変助かっている」という声がある一方、同居家族が多く、地域のつながりも強い地区なので、いろいろなことで助け合いが行われ、「特に困っていることはない」との声も聞かれました。

このようにいろいろな地域を回って話を聞くと、貝附集落のように地域のつながりが残り、自然な助け合いができていく地区もあります。このような地区を絶やさずに増やしていくためには、常日頃から家族や友人、隣近所の人たちと会話できる環境や世代を超えたつながりが重要です。自分たちの地域を今一度見つめ直し、できることから始めてみませんか。

今後も各地区を回り、地域の声を聞いていきたいと思っています。



▲貝附集落の「地域の茶の間」

●問い合わせ 介護高齢課地域包括支援センター ☎53-2111 (内線3432)

私は卒業後も村上市に定住するため、住居を改修中です。今後は、新規事業を立ち上げるため、家の一部を食品加工所に改造して、地元食材などを使ったブランド加工品の販売を行います。また、町おこしにつながるイベントなどを企画・プロデュースしたり、音楽の制作をしたりして、それぞれの分野で掛け算して付加価値をつけていく事業を展開していきます。キーワードは「音×食×

地域おこし協力隊として塩野町地域に来てから今年の3月末で3年が経過し、いよいよ卒業となります。卒業するなんて学生のととき以来の感覚で、感傷に浸りたいところですが、ただ今、卒業後の開業準備で大忙しの日々を過ごしています。



高橋 直人 隊員

キーワードは音×食×町おこし



▲住居を改修中の高橋隊員(右)

町おこし。それらを通して心が喜ぶことやワクワクの輪を広げていけたらと考えています。
3月5日(火)午後7時から総合文化会館で行われる地域おこし協力隊の活動報告会の中で、私の3年間の活動を発表しますので、ぜひお越しくだせ。
これまで多くの皆さんに支えられ、大変充実した3年間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

シリーズ

地域おこし協力隊通信

22

●問い合わせ 自治振興課自治振興室
☎53・2111 (内線3310)